

植えてすぐはやや寂しい印象を受けますが、大きくなっていく様子を楽しみましょう。



# 花のある生活

トミーの寄せ植えプロデュース  
文・写真：富山 昌克

寄せ植えをこれから始めてみたい！  
という初心者を対象に、簡単にできる  
寄せ植えを紹介するコーナーです。  
※不定期で連載しています。



## 第10回 目指せ！半球体！ 壁掛けハンギングバスケットで楽しむ 八重咲きベゴニア

壁掛けハンギングバスケットは上部しか植え込まない方が多いですが、本来、ハンギングバスケットの形状が見えなくなるほど、植物を立体的に育てあげるのが英国流の基本です。今回は、半球体の形へ育てあげる楽しみがあるハンギングバスケットです。

鑑賞期間 6月～11月

水やり ハンギングは乾きやすいので、軽く感じたらすぐに水やりする。水流が強すぎると、バスケットの用土が流れ落ちるため、水やりはゆっくりと注いでいく。

置き場所 午前中に日の当たるところにつるす。

植え込み図



18.5cm(奥行)x35cm(幅)x  
19.5cm(高さ)



**A** ベゴニア・ダブレットローズ

八重咲きで花付きがよく、晩秋まで花が株いっぱい咲き続けます。

### 手順



**1** バスケットと花苗を並べ、植える位置を確認する。**2** ヤシマットの側面中央やや下あたりをハサミで縦向きに切る。**3** 園芸培養土をヤシマットの底に入れる。鉢底石は不要。**4** ポットから苗の根鉢(根と土の塊)を抜く。空のポットの底は切り取り、側面を縦に切って開く。**5** 切り開いたポットの上に根鉢を置き、のり巻きのように巻きつけ、ぎゅっと握りしめて根鉢を圧縮する。**6** ヤシマットに開けた穴に、**5**の根鉢を入れていく。

続けて、バスケットの側面左右に1苗ずつ、同様に植え込む。巻きつけたポリポットは取り出し、隙間に園芸培養土を詰める。バスケット上部の中央(やや奥側)に残りの苗を前面に傾けて植え込んだら、緩効性化成肥料を左隅、中央背後、右隅に2つまみばらまく。バスケット上部をヤシマットで覆い(マルチング)、完成。

### Point

ベゴニアは1つの苗でも成長すれば草丈30cm、株幅30cmほどになるので、少なく植えるのがコツ。

▶ 完成品イメージ。ビオラの半球体状のハンギングバスケットです。

